

目次

人工知能科学研究科

＜人工知能科学専攻（D）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	25
7. その他全般的事項	26

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人立教学院

(2) 大 学 名
立教大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒171-8501
東京都豊島区西池袋3丁目34-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(トイダカズヒコ) 戸井田 和彦 (令和2年9月25日)	(フクダ ヒロアキ) 福田 裕昭 (令和4年8月1日)	前理事長の任期満了に伴う改選による交替 令和4年8月1日 (5)
学 長	(ニシハラレンタ) 西原 廉太 (令和3年4月1日)		
研究科委員長	(ウチヤマヤスノブ) 内山 泰伸 (令和2年4月1日)		
専攻主任	(タキマサト) 瀧 雅人 (令和4年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
令和6年度に報告する内容 → (6)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和6年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5)－① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称（学位）	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停 止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
人工知能科学研究科 人工知能科学専攻 博士（人工知能科学）	理学関係	3 年	8 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	24 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「－」を選択。）

(5)－② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 8 (－) [－]	人 8 (－) [－]	人 8 (－) [－]	人 8 (－) [－]	人 8 (－) [－]	人 8 (－) [－]				
志願者数	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	8 (－) [－]	－ (－) [－]	6 (－) [－]	－ (－) [－]	6 (－) [2]	－ (－) [－]				
受験者数	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	8 (－) [－]	－ (－) [－]	6 (－) [－]	－ (－) [－]	6 (－) [2]	－ (－) [－]				
合格者数	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	6 (－) [－]	－ (－) [－]	5 (－) [－]	－ (－) [－]	6 (－) [2]	－ (－) [－]				
B 入学者数	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	6 (－) [－]	－ (－) [－]	5 (－) [－]	－ (－) [－]	6 (－) [2]	－ (－) [－]				
入学定員超過率 B/A	－		－				0.75		0.62		0.75					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「－」を記入してください。
 - ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（()）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ 転入学生は記入しないでください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。
 - ・ （春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「－」を選択）
 - ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
 - ・ 「(5)－② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	6 [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	5 [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	6 [2] (ー)	－ [ー] (ー)	
2 年次			－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	6 [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	5 [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	
3 年次					－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	6 [ー] (ー)	
4 年次							－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	
計			－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)			－ [ー] (ー)	6 [ー] (ー)	11 [ー] (ー)	17 [2] (ー)			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	6 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
令和5年度	11 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
令和6年度	17 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\quad - \quad} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{6} = \boxed{0} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{11} = \boxed{0} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{17} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜人工知能科学研究科 人工知能科学専攻（D）＞

（１）－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
リ サ ー チ ワ ー ク 科 目	人工知能科学特別研究1	1前	3			7	1				
	人工知能科学特別研究2	1後	3			7	1				
	人工知能科学特別研究3	2前	3			7	1				
	人工知能科学特別研究4	2後	3			7	1				
	人工知能科学特別研究5	3前	3			7	1				
	人工知能科学特別研究6	3後	3			7	1				
	人工知能科学先端演習	1・2後	2			7	1				
	小計(7科目)	－	20	0	0	7	1	0	0	0	0
コ ー ス ワ ー ク 科 目	人工知能科学特別講義	1・2・3前		2		7	1				
	人工知能科学特別講究1	1・2・3前		2		7	1				
	人工知能科学特別講究2	1・2・3後		2		7	1				
	社会情報科学概論(D)(※)	1・2・3後		2		1					1
	計算機科学概論(D)(※)	1・2・3前		2							1
	統計モデリング1(D)(※)	1・2・3後		2		1					
	統計モデリング2(D)(※)	1・2・3前		2		1					
	複雑ネットワーク科学(D)(※)	1・2・3前		2		1					
	自然言語処理特論(D)(※)	1・2・3後		2		1					
	脳神経科学特論(D)(※)	1・2・3後		2							6
	量子情報特論(D)(※)	1・2・3後		2							4
	深層学習演習1(D)(※)	1・2・3後		2		1					1
	深層学習演習2(D)(※)	1・2・3後		2			1				
	人工知能科学特別演習(D)(※)	1・2・3前		2							2
	データサイエンス実習(D)(※)	1・2・3前		2		1					1
	小計(15科目)	－	0	30	0	7	1	0	0	0	16
合計(22科目)		－	20	30	0	7	1	0	0	0	16
卒業要件及び履修方法											
博士課程後期課程に3年以上在学し、リサーチワーク科目(研究指導)を20単位、 コースワーク科目(「※」を付した科目は既に前期課程で開講している科目であり、 前期課程との合同科目である。)を6単位以上を修得した上で、博士論文を提出し、 その審査および最終試験に合格した者に博士の学位を授与する。ただし、在学期 間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、博士課程後期課程に1年 以上(博士課程前期課程若しくは修士課程又は専門職学位課程に1年以上2年未 満在学し当該課程を修了した者については、当該課程における在学期間を含めて 3年以上)在学すれば足りるものとする。											

【令和6年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
リ サ ー チ ワ ー ク 科 目	人工知能科学特別研究1	3				8	2				
	人工知能科学特別研究2	3				8	2				
	人工知能科学特別研究3	3				6	2				
	人工知能科学特別研究4	3				6	2				
	人工知能科学特別研究5	3				6	2				
	人工知能科学特別研究6	3				6	2				
	人工知能科学先端演習	2				8	2				
	小計(7科目)	－	20	0	0	8	2	0	0	0	0
コ ー ス ワ ー ク 科 目	人工知能科学特別講義	1・2・3前		2		8	2				
	人工知能科学特別講究1	1・2・3前		2		5	1				
	人工知能科学特別講究2	1・2・3後		2		5	1				
	社会情報科学概論(D)(※)	1・2・3後		2		1					1
	計算機科学概論(D)(※)	1・2・3前		2							1
	統計モデリング1(D)(※)	1・2・3後		2		1					
	統計モデリング2(D)(※)	1・2・3前		2		1					
	複雑ネットワーク科学(D)(※)	1・2・3前		2		1					1
	自然言語処理特論(D)(※)	1・2・3後		2		1					
	脳神経科学特論(D)(※)(未開講)	1・2・3後		2							
	量子情報特論(D)(※)	1・2・3後		2		1					4
	深層学習演習1(D)(※)	1・2・3後		2		1	1				
	深層学習演習2(D)(※)	1・2・3後		2			1				
	人工知能科学特別演習(D)(※)	1・2・3前		2							2
	データサイエンス実習(D)(※)	1・2・3前		2		1					2
	小計(15科目)	－	0	30	0	8	2	0	0	0	11
合計(22科目)		－	20	30	0	8	2	0	0	0	11
卒業要件及び履修方法											
博士課程後期課程に3年以上在学し、リサーチワーク科目(研究指導)を20単位、 コースワーク科目(「※」を付した科目は既に前期課程で開講している科目であり、 前期課程との合同科目である。)を6単位以上を修得した上で、博士論文を提出し、 その審査および最終試験に合格した者に博士の学位を授与する。ただし、在学期 間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、博士課程後期課程に1年 以上(博士課程前期課程若しくは修士課程又は専門職学位課程に1年以上2年未 満在学し当該課程を修了した者については、当該課程における在学期間を含めて 3年以上)在学すれば足りるものとする。											

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
リサーチワーク科目	人工知能科学特別研究1	1前	3			5	1				
	人工知能科学特別研究2	1後	3			5	1				
	人工知能科学特別研究3	2前	3			5	1				
	人工知能科学特別研究4	2後	3			5	1				
	人工知能科学特別研究5(未開講)	3前	3			5	1				
	人工知能科学特別研究6(未開講)	3後	3			5	1				
	人工知能科学先端演習	1・2後	2			5	1				
	小計(7科目)	－	20	0	0	5	1	0	0	0	0
コースワーク科目	人工知能科学特別講義	1・2・3前		2		7	2				
	人工知能科学特別講究1	1・2・3前		2		5	1				
	人工知能科学特別講究2	1・2・3後		2		5	1				
	社会情報科学概論(D)(※)	1・2・3後		2		1					1
	計算機科学概論(D)(※)	1・2・3前		2							1
	統計モデリング1(D)(※)	1・2・3後		2		1					
	統計モデリング2(D)(※)	1・2・3前		2		1					
	複雑ネットワーク科学(D)(※)	1・2・3前		2		1					1
	自然言語処理特論(D)(※)	1・2・3後		2		1					
	脳神経科学特論(D)(※)	1・2・3後		2							6
	量子情報特論(D)(※)	1・2・3後		2							4
	深層学習演習1(D)(※)	1・2・3後		2		1	1				
	深層学習演習2(D)(※)	1・2・3後		2			1				
	人工知能科学特別演習(D)(※)	1・2・3前		2							2
	データサイエンス実習(D)(※)	1・2・3前		2		1					2
	小計(15科目)	－	0	30	0	7	1	0	0	0	17
合計(22科目)		－	20	30	0	7	1	0	0	0	17
卒業要件及び履修方法											
博士課程後期課程に3年以上在学し、リサーチワーク科目(研究指導)を20単位、コースワーク科目(「※」を付した科目は既に前期課程で開講している科目であり、前期課程との合同科目である。)を6単位以上を修得した上で、博士論文を提出し、その審査および最終試験に合格した者に博士の学位を授与する。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、博士課程後期課程に1年以上(博士課程前期課程若しくは修士課程又は専門職学位課程に1年以上2年未満在学し当該課程を修了した者については、当該課程における在学期間を含めて3年以上)在学すれば足りるものとする。											

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
リサーチワーク科目	人工知能科学特別研究1	1前	3			7	1				
	人工知能科学特別研究2	1後	3			7	1				
	人工知能科学特別研究3	2前	3			7	1				
	人工知能科学特別研究4	2後	3			7	1				
	人工知能科学特別研究5	3前	3			7	1				
	人工知能科学特別研究6	3後	3			7	1				
	人工知能科学先端演習	1・2後	2			7	1				
	小計(7科目)	－	20	0	0	7	1	0	0	0	0
コースワーク科目	人工知能科学特別講義	1・2・3前		2		7	2				
	人工知能科学特別講究1	1・2・3前		2		7	1				
	人工知能科学特別講究2	1・2・3後		2		7	1				
	社会情報科学概論(D)(※)	1・2・3後		2		1					1
	計算機科学概論(D)(※)	1・2・3前		2							1
	統計モデリング1(D)(※)	1・2・3後		2		1					
	統計モデリング2(D)(※)	1・2・3前		2		1					
	複雑ネットワーク科学(D)(※)	1・2・3前		2		1					1
	自然言語処理特論(D)(※)	1・2・3後		2		1					
	脳神経科学特論(D)(※)	1・2・3後		2							6
	量子情報特論(D)(※)	1・2・3後		2							4
	深層学習演習1(D)(※)	1・2・3後		2		1	1				
	深層学習演習2(D)(※)	1・2・3後		2			1				
	人工知能科学特別演習(D)(※)	1・2・3前		2							2
	データサイエンス実習(D)(※)	1・2・3前		2		1					2
	小計(15科目)	－	0	30	0	7	2	0	0	0	17
合計(22科目)		－	20	30	0	7	2	0	0	0	17
卒業要件及び履修方法											
博士課程後期課程に3年以上在学し、リサーチワーク科目(研究指導)を20単位、コースワーク科目(「※」を付した科目は既に前期課程で開講している科目であり、前期課程との合同科目である。)を6単位以上を修得した上で、博士論文を提出し、その審査および最終試験に合格した者に博士の学位を授与する。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、博士課程後期課程に1年以上(博士課程前期課程若しくは修士課程又は専門職学位課程に1年以上2年未満在学し当該課程を修了した者については、当該課程における在学期間を含めて3年以上)在学すれば足りるものとする。											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。(例：記載順) 【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)→【令和5年度】

(1) ー②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・多様なテーマを扱うため、「人工知能科学特別講義」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・多様なテーマを扱うため、「複雑ネットワーク科学(D)」の兼任・兼担の配置を「0」から「1」に変更。
- ・兼任・兼担教員であった者を専任教員として採用したため、「深層学習演習1(D)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更、兼任・兼担の配置を「1」から「0」に変更。
- ・多様なテーマを扱うため、「データサイエンス実習(D)」の兼任・兼担の配置を「1」から「2」に変更。

【令和5年度】

- ・令和5年3月31日付で専任教員2名が退職したため、「人工知能科学特別演習1～6」「人工知能科学先端演習」「人工知能科学特別講究1・2」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授5」に変更。

【令和6年度】

- ・令和5年3月31日付で専任教員が2名退職したものの、令和5年4月1日付で専任教員2名が新任教員として着任した。加えて、令和5年9月1日付で専任教員1名も新任教員として着任した。そのため、「人工知能科学特別演習1～2」の専任教員の配置を「教授7」「准教授1」から「教授8」「准教授2」に変更。
- ・担当教員の入れ替わりにより、「人工知能科学特別演習3～6」の専任教員の配置を「教授7」「准教授1」から「教授6」「准教授2」に変更。
- ・多様な研究テーマを取り扱うため、「人工知能科学先端演習」「人工知能科学特別講義」の専任教員の配置を「教授7」「准教授1」から「教授8」「准教授2」に変更。
- ・担当教員数を減らすことで、個々の教員の研究テーマを深掘した講義内容にするため、「人工知能科学特別講究1～2」の専任教員の配置を「教授7」から「教授5」に変更。
- ・多様なテーマを扱うため、「量子情報特論(D)」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。

- (注) ・ 2(1)ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
7 科目	15 科目	0 科目	22 科目	7 科目 [0]	15 科目 [0]	0 科目 [0]	22 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	脳神経科学特論 (D)	2	1・2・3後	-	選択	隔年開講とすることにしたため
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・ 「脳神経科学特論 (D)」科目は、講義内容が専門性が高い高度な内容となっており、履修者数が多くないため、隔年開講形式とすることとした。そのため、令和6年度は未開講となった。隔年開講となるため、学生は在学中に必ず履修する機会が生じる形となっており、学生の履修に支障はない。

・ 立教大学Rguide履修要項・教務関連案内にて、令和6年度の科目表を公開して学生へ周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{1}{22} = \boxed{4.54} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	運動場用地のうち、富士見総合グラウンドは校舎敷地とは別地（東武東上線志木駅からスクールバスで約20分）最新の数値を記入した。（5） 最新の数値を記入した。（6）			
	校 舎 敷 地	118,514㎡ 117,493㎡ 116,820㎡	0㎡	0㎡	118,514㎡ 117,493㎡ 116,820㎡				
	運動場用地	125,853㎡	0㎡	0㎡	125,853㎡				
	小 計	244,367㎡ 243,346㎡ 242,673㎡	0㎡	0㎡	244,367㎡ 243,346㎡ 242,673㎡				
	そ の 他	16,210㎡ 16,234㎡	0㎡	0㎡	16,210㎡ 16,234㎡				
	合 計	260,577㎡ 259,580㎡ 258,907㎡	0㎡	0㎡	260,577㎡ 259,580㎡ 258,907㎡				
(2)校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	完成年度については、新棟建設が未着工のため仮の数値最新の数値を記入した。（5） 最新の数値を記入した。（6）				
	185,171㎡ 182,776㎡ 183,096㎡ (176,476㎡ 176,796㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	185,171㎡ 182,776㎡ 183,096㎡ (176,476㎡ 176,796㎡)					
(3)教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 最新の数値を記入した。（5） 最新の数値を記入した。（6）			
	142 138 143室	141 157室	70 69室 (補助職員 一人)	13 9 24室 (補助職員 一人)	4 12室 (補助職員 一人)				
(4)専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	人工知能科学研究科人工知能科学専攻(D)			33 室					
(5)図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能のため、大学全体の数。 電子ジャーナル及び学術雑誌については、その大半が電子契約のみ又は冊子契約（所蔵）のみとなっており、必ずしも電子ジャーナルが学術雑誌の内数とならないため、それぞれ計上。 最新の数値を記入した。（5） 最新の数値を記入した。（6）	
	スポーツウエルネス学研究科スポーツウエルネス学専攻（M）	2,095,973〔801,170〕 2,140,355〔813,851〕 2,027,717〔785,765〕 (2,049,288〔789,825〕) (2,025,318〔784,054〕) (2,102,761〔806,713〕)	22,215〔7,258〕 22,216〔7,251〕 21,051〔7,060〕 (22,215〔7,258〕) (22,216〔7,251〕) (21,051〔7,060〕)	96,628〔96,467〕 94,083〔93,964〕 66,845〔66,734〕 (96,628〔96,467〕) (94,083〔93,964〕) (66,845〔66,734〕)	64,340 64,706 64,126 (63,922) (63,661) (65,854)	763 712 968 (763) (882) (968)	0 (0)		
	計	2,095,973〔801,170〕 2,140,355〔813,851〕 2,027,717〔785,765〕 (2,049,288〔789,825〕) (2,025,318〔784,054〕) (2,102,761〔806,713〕)	22,215〔7,258〕 22,216〔7,251〕 21,051〔7,060〕 (22,215〔7,258〕) (22,216〔7,251〕) (21,051〔7,060〕)	96,628〔96,467〕 94,083〔93,964〕 66,845〔66,734〕 (96,628〔96,467〕) (94,083〔93,964〕) (66,845〔66,734〕)	63,922 64,706 64,126 (63,922) (63,661) (65,854)	763 712 968 (763) (712) (968)	0 (0)		
	(6)図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			大学全体 最新の数値を記入した。（5）
		21,710.91 21,554.99㎡		2,029		2,777,306 2,928,382			
(7)体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	13,450.03㎡		ジム、馬場、射撃場、テニスコート、プール、弓道場						
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コストを含む。）を含む。最新の予算を反映した。（5） 最新の予算を反映した。（6）
		教員1人当たり研究費等	973千円 1,033千円	1,748千円 973千円 1,033千円	図書購入費	640,672千円 661,319千円	677,814千円 688,807千円 661,319千円	717,217千円 688,807千円 661,319千円	
		共同研究費等	27,000千円 15,186千円	17,400千円 27,000千円 15,186千円	設備購入費	158,378千円 202,991千円	409,941千円 369,929千円 202,991千円	772,915千円 369,929千円 202,991千円	
	学生1人当たり 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		963千円	738千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要			手数料収入、資産運用収入、寄付金収入、補助金収入等					

- （注）・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - 「（5）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を**赤字で見え消し**修正するとともに、その理由及び報告年度「（6）」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において**赤字で見え消し**した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - 国立大学については「（8）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	立 教 大 学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
文学部	4	918	0	3672	-	1.05	0.99	令和4	昭和24	-	令和4年度 入学定員増(900⇒918)			
キリスト教学科	4	50	0	200	学士(文学)	1.04	0.97	令和4	昭和24	東京都豊島区西池袋三丁目34番1号	令和4年度 入学定員増(49⇒50)			
史学科	4	215	0	860	学士(文学)	1.04	0.99	令和4	昭和24	同上	令和4年度 入学定員増(214⇒215)			
教育学科	4	101	0	404	学士(文学)	1.14	1.09	令和4	昭和37	同上	令和4年度 入学定員増(100⇒101)			
文学科	4	552	0	2208	学士(文学)	1.03	0.98	令和4	平成18	同上	令和4年度 入学定員増(537⇒552)			
経済学部	4	684	0	2736	-	1.03	0.98	令和4	昭和24	-	令和4年度 入学定員増(680⇒684)			
経済学科	4	332	0	1328	学士(経済学)	1.06	1.00	令和4	昭和24	同上	令和4年度 入学定員増(330⇒332)			
会計ファイナンス学科	4	176	0	704	学士(経済学)	0.97	-	令和4	平成14	同上	令和4年度 入学定員増(175⇒176)			
経済政策学科	4	176	0	704	学士(経済学)	1.05	1.00	令和4	平成18	同上	令和4年度 入学定員増(175⇒176)			
理学部	4	292	0	1168	-	1.02	0.97	-	昭和24	-				
数学科	4	66	0	264	学士(理学)	1.05	0.99	-	昭和24	同上				
物理学科	4	77	0	308	学士(理学)	1.03	0.96	-	昭和24	同上				
化学科	4	77	0	308	学士(理学)	0.98	-	-	昭和24	同上				
生命理学科	4	72	0	288	学士(理学)	1.01	0.98	-	平成14	同上				
社会学部	4	519	0	2076	-	1.06	1.01	令和4	昭和33	-	令和4年度 入学定員増(510⇒519)			
社会学科	4	173	0	692	学士(社会学)	1.07	1.01	令和4	昭和33	同上	令和4年度 入学定員増(170⇒173)			
現代文化学科	4	173	0	692	学士(社会学)	1.04	0.98	令和4	平成14	同上	令和4年度 入学定員増(170⇒173)			
行政社会学科	4	173	0	692	学士(社会学)	1.07	1.02	令和4	平成18	同上	令和4年度 入学定員増(170⇒173)			
法学部	4	585	0	2340	-	1.05	1.00	-	昭和34	-				
法学科	4	360	0	1440	学士(法学)	0.95	-	-	昭和34	同上				
政治学科	4	110	0	440	学士(政治学)	1.07	1.01	-	平成8	同上				
国際比較法学科	4	115	0	460	学士(法学)	1.32	1.25	-	昭和63	同上				
観光学部	4	370	0	1480	-	1.05	0.99	-	平成10	-				
観光学科	4	195	0	780	学士(観光学)	1.09	1.02	-	平成10	埼玉県新座市北野一丁目2番26号				
交流文化学科	4	175	0	700	学士(観光学)	1.00	0.95	-	平成18	同上				
コミュニティ福祉学部	4	350	0	1400	-	1.02	0.98	令和5	平成10	-	令和5年度 入学定員減(418⇒350)			
福祉学科	4	130	0	520	学士(コミュニティ福祉学)	1.00	-	令和5	平成18	同上	令和5年度 入学定員減(154⇒130)			
コミュニティ政策学科	4	220	0	880	学士(コミュニティ福祉学)	1.03	1.00	令和5	平成18	同上	令和5年度 入学定員増(154⇒220)			
スポーツ福祉学科	4	-	-	-	学士(スポーツ福祉学)	-	-	令和5	平成20	同上	令和5年度 学生募集停止			
経営学部	4	385	0	1540	-	1.04	1.00	-	平成18	-				
経営学科	4	230	0	920	学士(経営学)	1.02	0.98	-	平成18	東京都豊島区西池袋三丁目34番1号				

国際経営学科	4	155	0	620	学士 (経営学)	1.08	1.02	-	平成18	同上	
現代心理学部	4	319	0	1276	-	1.05	1.00	-	平成18	-	
心理学科	4	143	0	572	学士 (心理学)	1.04	1.00	-	平成18	埼玉県新座市北野一丁目2番26号	
映像身体学科	4	176	0	704	学士 (映像身体学)	1.06	1.01	-	平成18	同上	
異文化コミュニケーション学部	4	210	0	840	-	1.12	1.02	令和6	平成20	-	令和6年度 入学定員増(145⇒210)
異文化コミュニケーション学科	4	210	0	840	学士 (異文化コミュニケーション学)	1.12	1.02	令和6	平成20	東京都豊島区西池袋三丁目34番1号	令和6年度 入学定員増(145⇒210)
スポーツウェルネス学部	4	230	0	920	-	1.00	—	-	令和5	-	
スポーツウェルネス学科	4	230	0	920	学士 (スポーツウェルネス学)	1.00	—	-	令和5	埼玉県新座市北野一丁目2番26号	令和5年度 開設
大学全体	4	4862	0	19448	-	1.04	0.99	-	-	-	
大学全体	4	240	3年次 10	980	-	-	-	-	-	-	

(注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・本年度ＡＣの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
- ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
- ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

＜人工知能科学研究科 人工知能学科専攻（D）＞・

(1) 一① 担当教員表

【認可時又は届出時】

[illegible]

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	石川 真之介 (39) ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		深層学習演習 1（D）
兼任	教授	和田 伸一郎 (52) ＜令和4年4月＞ 博士（人間・環境学）
		社会情報科学概論（D）
兼任	講師	村田 悠也 (33) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		計算機科学概論(D)
兼任	講師	雨森 賢一 (48) ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		脳神経科学特論(D)
兼任	講師	近添 淳一 (46) ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		脳神経科学特論(D)
兼任	講師	豊泉 太郎 (43) ＜令和4年4月＞ 博士（科学）
		脳神経科学特論(D)
兼任	講師	西本 伸志 (43) ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		脳神経科学特論(D)
兼任	講師	松井 鉄平 (42) ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		脳神経科学特論(D)
兼任	講師	渡邊 正峰 (51) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		脳神経科学特論(D)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専 准教授		石川 真之介 (39) ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		深層学習演習 1（D） 人工知能科学特別講義
兼任	教授	和田 伸一郎 (52) ＜令和4年4月＞ 博士（人間・環境学）
		社会情報科学概論（D）
兼任	講師	村田 悠也 (33) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		計算機科学概論(D)
兼任	講師	雨森 賢一 (48) ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		脳神経科学特論(D)
兼任	講師	近添 淳一 (46) ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		脳神経科学特論(D)
兼任	講師	豊泉 太郎 (43) ＜令和4年4月＞ 博士（科学）
		脳神経科学特論(D)
兼任	講師	西本 伸志 (43) ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		脳神経科学特論(D)
兼任	講師	松井 鉄平 (42) ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		脳神経科学特論(D)
兼任	講師	渡邊 正峰 (51) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		脳神経科学特論(D)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専 准教授		石川 真之介 (40) ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		深層学習演習 1（D） 人工知能科学特別講義
兼任	教授	和田 伸一郎 (53) ＜令和4年4月＞ 博士（人間・環境学）
		社会情報科学概論（D）
兼任	講師	村田 悠也 (34) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		計算機科学概論(D)
兼任	講師	雨森 賢一 (49) ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		脳神経科学特論(D)
兼任	講師	近添 淳一 (48) ＜令和4年4月＞ 博士（医学）
		脳神経科学特論(D)
兼任	講師	豊泉 太郎 (44) ＜令和4年4月＞ 博士（科学）
		脳神経科学特論(D)
兼任	講師	西本 伸志 (44) ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		脳神経科学特論(D)
兼任	講師	松井 鉄平 (43) ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		脳神経科学特論(D)
兼任	講師	渡邊 正峰 (52) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		脳神経科学特論(D)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専 准教授		石川 真之介 (41) ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		深層学習演習 1（D） 人工知能科学特別研究 1 人工知能科学特別研究 2 人工知能科学特別研究 3 人工知能科学特別研究 4 人工知能科学特別研究 5 人工知能科学特別研究 6 人工知能科学先端演習 人工知能科学特別講義
兼任	教授	和田 伸一郎 (54) ＜令和4年4月＞ 博士（人間・環境学）
		社会情報科学概論（D）
兼任	講師	村田 悠也 (35) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		計算機科学概論(D)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宇都宮 聖子 (41) ＜令和4年4月＞ 博士（情報理工学）
		量子情報特論 (D)
兼任	講師	大関 真之 (40) ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		量子情報特論 (D)
兼任	講師	カンガリヤン ドミトリ (44) ＜令和4年4月＞ PhD on Theoretical Physics
		量子情報特論 (D)
兼任	講師	針原 佳貴 (34) ＜令和4年4月＞ 博士（情報理工学）
		量子情報特論 (D)
兼任	講師	村上 隆夫 (40) ＜令和4年4月＞ 博士（情報理工学）
		人工知能科学特別演習 (D)
兼任	講師	アントラーデ シルバ ダニエル ゲオルク (41) ＜令和4年4月＞ 博士（情報理工学） 博士（統計科学）
		人工知能科学特別演習 (D)
兼任	講師	本武 陽一 (38) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		データサイエンス実習 (D)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宇都宮 聖子 (42) ＜令和4年4月＞ 博士（情報理工学）
		量子情報特論 (D)
兼任	講師	大関 真之 (40) ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		量子情報特論 (D)
兼任	講師	カンガリヤン ドミトリ (44) ＜令和4年4月＞ PhD on Theoretical Physics
		量子情報特論 (D)
兼任	講師	針原 佳貴 (34) ＜令和4年4月＞ 博士（情報理工学）
		量子情報特論 (D)
兼任	講師	アントラーデ シルバ ダニエル ゲオルク (41) ＜令和4年4月＞ 博士（情報理工学） 博士（統計科学）
		人工知能科学特別演習 (D)
兼任	講師	本武 陽一 (38) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		データサイエンス実習 (D)
兼任	講師	伊藤 真利子 (37) ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		複雑ネットワーク科学 (D)
兼任	講師	有竹 俊光 (32) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		人工知能科学特別演習 (D)
兼任	講師	天本 義史 (38) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		データサイエンス実習 (D)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宇都宮 聖子 (43) ＜令和4年4月＞ 博士（情報理工学）
		量子情報特論 (D)
兼任	講師	大関 真之 (41) ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		量子情報特論 (D)
兼任	講師	カンガリヤン ドミトリ (45) ＜令和4年4月＞ PhD on Theoretical Physics
		量子情報特論 (D)
兼任	講師	針原 佳貴 (35) ＜令和4年4月＞ 博士（情報理工学）
		量子情報特論 (D)
兼任	講師	村上 隆夫 (41) ＜令和4年4月＞ 博士（情報理工学）
		人工知能科学特別演習 (D)
兼任	講師	本武 陽一 (39) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		データサイエンス実習 (D)
兼任	講師	伊藤 真利子 (38) ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		複雑ネットワーク科学 (D)
兼任	講師	有竹 俊光 (33) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		人工知能科学特別演習 (D)
兼任	講師	天本 義史 (39) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		データサイエンス実習 (D)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宇都宮 聖子 (44) ＜令和4年4月＞ 博士（情報理工学）
		量子情報特論 (D)
兼任	講師	大関 真之 (42) ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		量子情報特論 (D)
兼任	講師	カンガリヤン ドミトリ (46) ＜令和4年4月＞ PhD on Theoretical Physics
		量子情報特論 (D)
兼任	講師	針原 佳貴 (36) ＜令和4年4月＞ 博士（情報理工学）
		量子情報特論 (D)
兼任	講師	村上 隆夫 (42) ＜令和4年4月＞ 博士（情報理工学）
		人工知能科学特別演習 (D)
兼任	講師	本武 陽一 (40) ＜令和4年4月＞ 博士（学術）
		データサイエンス実習 (D)
兼任	講師	伊藤 真利子 (39) ＜令和4年4月＞ 博士（理学）
		複雑ネットワーク科学 (D)
兼任	講師	有竹 俊光 (34) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		人工知能科学特別演習 (D)
兼任	講師	天本 義史 (40) ＜令和4年4月＞ 博士（工学）
		データサイエンス実習 (D)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。

その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。

- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
- ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)を

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・教育研究の充実を図るため、石川 真之介（兼任）講師を令和4年4月1日付で、（専任）准教授として採用した。
- ・多様なテーマを扱うため、令和4年4月1日付にて、伊藤 真利子（兼任）講師を採用した。
- ・多様なテーマを扱うため、令和4年4月1日付にて、天本 義史（兼任）講師を採用した。
- ・本務先都合により、令和4年4月1日付で村上 隆夫（兼任）講師が退職したため、令和4年4月1日付で有竹 俊光（兼任）講師を採用した。

【令和5年度】

- ・令和5年3月31日付で退職した新田 徹（専任）教授の後任として、加藤 恒彦（専任）教授を令和5年4月1日付で採用した。
- ・令和5年3月31日付で退職した吉川 厚（専任）教授の後任として、大庭 弘継（専任）教授を令和5年4月1日付で採用した。
- ・本務先都合により、アンドラーデ シルバ ダニエル ゲオルグ（兼任）講師が授業担当から外れ、令和5年4月1日付で村上 隆夫（兼任）講師を採用した。
- ・韓 先花（専任）教授を令和5年9月1日付で採用した。

【令和6年度】

- ・「脳神経科学特論（D）」科目の未開講に伴い、雨森 賢一（兼任）講師、近添 淳一（兼任）講師、豊泉 太郎（兼任）講師、西本 伸志（兼任）講師、松井 鉄平（兼任）講師、渡邊 正峰（兼任）講師の6名の兼任講師には委嘱を行わなかった。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**原則としてAC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2)－② 専任教員等数【大学院】

設 置 時 の 計 画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 （A）	助手 （A'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （B）	助手 （B'）
7	1	0	0	8	0	8	2	0	0	10	0
(7)	(1)	(0)	(0)	(8)	(0)						
研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
8	7	0	0			8	6	0	0		
(8)	(7)	(0)	(0)								
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 （C）	助手 （C'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （D）	助手 （D'）
8	2	0	0	10	0	8	2	0	0	10	0
[0]	[1]	[0]	[0]	[2]	[0]	[0]	[1]	[0]	[0]	[2]	[0]
研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究 指導 教員 数	うち教 授数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
10	8	0	0			10	8	0	0		
[2]	[1]	[0]	[0]			[2]	[1]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{10}{8} = \boxed{125} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{10} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由
(3)－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
							該当なし						
合計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで。就任した後に辞任した教員は、以下「（3）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
1	教授	新田 徹	R5.3	必修	人工知能科学特別研究1	①	R5.3.31付けで他大学への移籍のため辞任（5）							
				必修	人工知能科学特別研究2	①								
				必修	人工知能科学特別研究3	①								
				必修	人工知能科学特別研究4	①								
				必修	人工知能科学特別研究5	①								
				必修	人工知能科学特別研究6	①								
				必修	人工知能科学先端演習	①								
				選択	人工知能科学特別講義	①								
				選択	人工知能科学特別講究1	①								
				選択	人工知能科学特別講究2	①								
			選択	深層学習演習1（D）	①									
2	教授	吉川 厚	R5.3	必修	人工知能科学特別研究1	①	R5.3.31付けで他大学への移籍のため辞任（5）							
				必修	人工知能科学特別研究2	①								
				必修	人工知能科学特別研究3	①								
				必修	人工知能科学特別研究4	①								
				必修	人工知能科学特別研究5	①								
				必修	人工知能科学特別研究6	①								
				必修	人工知能科学先端演習	①								
				選択	人工知能科学特別講義	①								
				選択	人工知能科学特別講究1	①								
				選択	人工知能科学特別講究2	①								
合計（F）						後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
2	人		必修	14	科目	必修	14	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	7	科目	選択	7	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	21	科目	計	21	科目	計	0	科目	計	0	科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－③ 上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計（D）＋（F）						後任補充状況の集計（E）＋（G）					
辞任等した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
2	人		必修	14	科目	必修	14	科目	必修	0	科目
			選択	7	科目	選択	7	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	21	科目	計	21	科目	計	0	科目

(3)－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)－③合計(D)+(F)

(2)－②設置時の計画(A)

=

2

8

=

25

%

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3)－⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0

人

(注)・ (3)－①、(3)－②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D)＋(F)と同数を記載してください。

(3)－⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
						該当なし				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」

・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」

・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【大学の所見】
新田 徹（専任）教授の担当科目のうち「人工知能科学特別講義（選択科目）」は2023年4月1日着任の専任教員が担当し、「深層学習演習1（D）（選択科目）」は2023年9月1日着任の専任教員が担当する。また、「人工知能科学特別研究1～6（必修科目）」「人工知能科学先端演習（必修科目）」「人工知能科学特別講究1・2（選択科目）」については他の専任教員が担当するため支障はない。
吉川厚（専任）教授の担当科目のうち「人工知能科学特別研究1～6（必修科目）」「人工知能科学先端演習（必修科目）」「人工知能科学特別講究1・2（選択科目）」については他の専任教員が担当するため支障はない。

【学生への周知方法】
学生には研究科の公式コミュニケーションツールであるSlackにて研究科委員長から直接周知がなされたのち、シラバスや時間割表で科目担当者変更を周知した。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届出時 (令和3年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）（6）」と記載してください。
 - 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人工知能科学研究科 人工知能科学専攻（D）>

（１）設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

（注）・ １～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

令和２年４月１日付で、人工知能科学研究科FD委員会を設置した。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和５年度はFD委員会を４回開催した。

令和５年度はFD委員会構成員である、全専任教員が参加した。

c 委員会の審議事項等

学生の授業評価アンケート調査、研究科教員からの発議、提案事項のほか、FD 活動全般

② 実施状況

a 実施内容

博士課程後期課程については、これまでに以下の事を実施した。

- ・研究倫理審査の体制の構築について、意見交換を行った。
- ・より良い計算機環境を構築するための施策について、意見交換を行った。
- ・院生同士の研究を共有する機会の創出について、意見交換を行った。

b 実施方法

- ・令和５年度は対面とオンライン（zoom）のハイブリッドで行った。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・Slackを用いた情報交換は随時行っている。
- ・令和５年度はFD委員会構成員である、全専任教員が参加した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

以下の取り組みを行っている。

- ・研究倫理審査委員会を設立するために必要な準備を整理して素案を作成した。
- ・Slack上で教員から学生に、研究倫理に関する話題提供を行うようにしたこと、学生の研究倫理意識が高まる仕組みを構築した。
- ・学生同士がお互いの研究内容を知る機会を創出すること、及び学生が研究を対外的に発表してモチベーションアップを図ることを目的として、一般公開行事「RikkyoAI オープンハウス」を開催した。
令和５年度のオープンハウスでは各研究室での研究発表のほかに、データ分析コンペティションも開催した。
- ・現状の計算機環境の見直しおよび今後の計算機導入の検討を議論し、GPUサーバーについては、保守契約を見直し、内製化する対応を実施し、新たなGPUマシンを購入した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

博士課程後期課程において、令和５年度春学期修了時点及び秋学期修了時点に実施した。

博士課程後期課程は学生の人数が少ないため、アンケートの実施時期に限らず、学生・教員間で率直な意見交換が対面及びSlack上行われている。

b 教員や学生への公開状況、方法等

博士課程後期課程においては、授業評価アンケートの結果を、専任の教員のみならず、非常勤の教員（客員教員・兼任講師）とも共有し、各授業が有機的につながるように見直し・改善を行った。

- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本研究科博士課程後期課程は、AI 駆動型科学 (AI 技術によって革新される科学研究) を推進し、自然科学の研究に新展開をもたらすことができる人材を輩出するため、令和4年4月に開設された。
研究科の目的を達成するため、以下の取り組みを行った。

【入学者確保】

令和4年度入試は開設初年度の入試ということで、令和3年7月に博士課程後期課程についての概要を紹介する進学説明会を実施した。進学説明会には、31名からの参加申し込みがあった。結果として、令和4年度入試では、入学定員8名に対して、8名の志願者が集まった。その後、選考の結果、6名が合格をして、入学者数も6名であった。

令和5年度入試では、入学定員8名に対して6名の志願者が集まり、選考の結果、5名が合格をして入学者数も5名であった。

令和6年度入試では、入学定員8名に対して6名の志願者が集まり、選考の結果、6名が合格をして入学者数も6名であった。

【カリキュラム】

令和4年度は届出時から専任教員を1名追加で採用して一部の設置科目で科目担当者を追加し、科目の充実を図った。

令和4年度末には2名の専任教員が退職したが、令和5年4月1日付で後任の専任教員を2名を採用し、教育・研究指導に空白が生じることを回避した。

さらなる教育・研究の充実を図るため、令和5年9月1日付で、新たに専任教員を1名採用した。

【研究活動】

博士論文の執筆に向けて、学生ごとに指導が開始されている。国際会議での論文採択等、既に成果も出始めており、さらなる活躍が期待される。

【産学連携】

本研究科では、人工知能やデータサイエンスの技術を社会の様々な課題に応用し、人工知能の社会実装を推進するための知識・技術を獲得するため、積極的に産学連携を推進しており、博士課程後期課程開設前から、複数の企業と共同研究プロジェクトを進めている。博士課程後期課程の学生の中には、自身の研究テーマに関連する共同研究プロジェクトに参加している者もいる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・令和7年4月公表予定(認証評価受審後)

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和6年に評価機関(公益財団法人大学基準協会)による大学評価(認証評価)を受審予定

(注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [有]

≪ aで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。